



メソポタミア考古学教育研究所 ニューズレター

5号

2023年5月

目次

報告1 第5回通常総会 (2022年7月31日)	2
報告2 国際シンポジウム (10月22日)	4
報告3 公開ディスカッション (2023年3月3日)	22
会員だより 「旅行屋の夢」	24



*JAPANESE-IRAQI INSTITUTE FOR
ARCHAEOLOGICAL EDUCATION OF MESOPOTAMIA*

報告 1

第5回通常総会

日時 2022年7月31日(土) 13:00～14:00

会場 藤沢市市民活動推進センター 会議室 A

参加者 3名+委任状提出者31名+書面評決3名 計37名

(開催時の正会員総数48名のため、総会は定款に則り正式に成立)

開会挨拶

小泉龍人代表理事より、総会当日12時時点で2022年度の会費納入を終えている正会員の総数(48名)のうち、Googleフォーム・ハガキによる参加者34名、会場出席者3名、計37名出席となり、過半数を越えているため総会が成立することが宣言された。

議長団選出・代表挨拶

議長に榊原智之理事、書記に樋口昭博会員が指名され、承認された。代表理事より、新型コロナ第7波だけではなく豪雨や連日の猛暑も続いていることから、感染・罹災された方々に対するお見舞いの言葉があり、その後、第5回通常総会を藤沢市市民活動推進センターで開催するにあたり、会員の健康を最優先とし、新型コロナ感染拡大防止の観点から、来場を自粛するようお願いしたとの経緯説明があった。

議題

・第1号議案：2021年度事業報告

今年度は活動4年目となり、過去3年間の活動成果を踏まえて、引き続き活動内容の質的および量的な改善を図ること、新型コロナウィルス(COVID-19)の感染拡大により再延期した国際シンポジウムの再開を中心にイラク関係者・関係機関との提携拡大につき、状況を見極めながら臨機応変に取り進めること、各事業を円滑に推進するため、実行体制のさらなる整備を行うこと、新型コロナの影響による活動への制約が見込まれるため、各事業はオンライン方式を軸として、機を見てオンライン・対面のハイフレックス方式また

は対面式へ移行すること等を勘案して事業活動に取り組んだことの報告があった。また、会員の獲得については、財政基盤の強化の観点からも賛助会員の拡大に鋭意取り組むこととしたが、今年度も新型コロナの蔓延が収まることなく、活動の大半は停止せざるを得ず、多くの事業を来年度に延期せざるを得なくなり、今年度の事業活動は、勉強会等すべてオンラインにて実施した旨の説明があった。

・第2号議案：2021年度会計報告(活動計算書) 収入総額315,012円、支出総額77,022円、これに前期繰越金1,537,340円を加えて、差し引き1,775,330円が今年度繰越金であったことにつき、代表理事から説明があり、以上2件の議案が賛成多数で可決された。

・監査報告

榊原康夫監事より、事業報告書、計算書類が適正であるとの報告があった。



会場入口